

令和6年度第1回やまがた緑環境税評価・検証委員会現地視察行程

日時	令和6年8月27日（火） 10:30～15:00	
時間	行程（会議・現地視察）	
10:30	やまがた緑環境税評価・検証委員会	【70分】
11:40	昼食・休憩（講堂にて）	【40分】
12:20	現地視察出発	
	《移動：30分》	
12:50 ～13:10	視察①山形市妙見寺地内 ・森林資源再生事業（再造林）	【20分】
	《移動：20分》	
13:30 ～13:50	視察②山形市蔵王上野地内 ・荒廃森林緊急整備事業（間伐・作業道）	【20分】
	《移動・トイレ休憩：30分》	
14:20 ～14:40	視察③山形市村木沢地内 ・みどり豊かな森林環境づくり推進事業（県民提案型）	【20分】
	《移動：20分》	
15:00	村山総合支庁到着	
	解散	

《現地視察配車》

グランドキャビン	評価・検証委員、遠藤 和典厚生環境常任委員長、笠井主幹、黒田主幹
公用車、共用車	部長、関係課長、室長他委員会出席者

# 第1回やまがた緑環境税評価・検証委員会 現地視察位置図

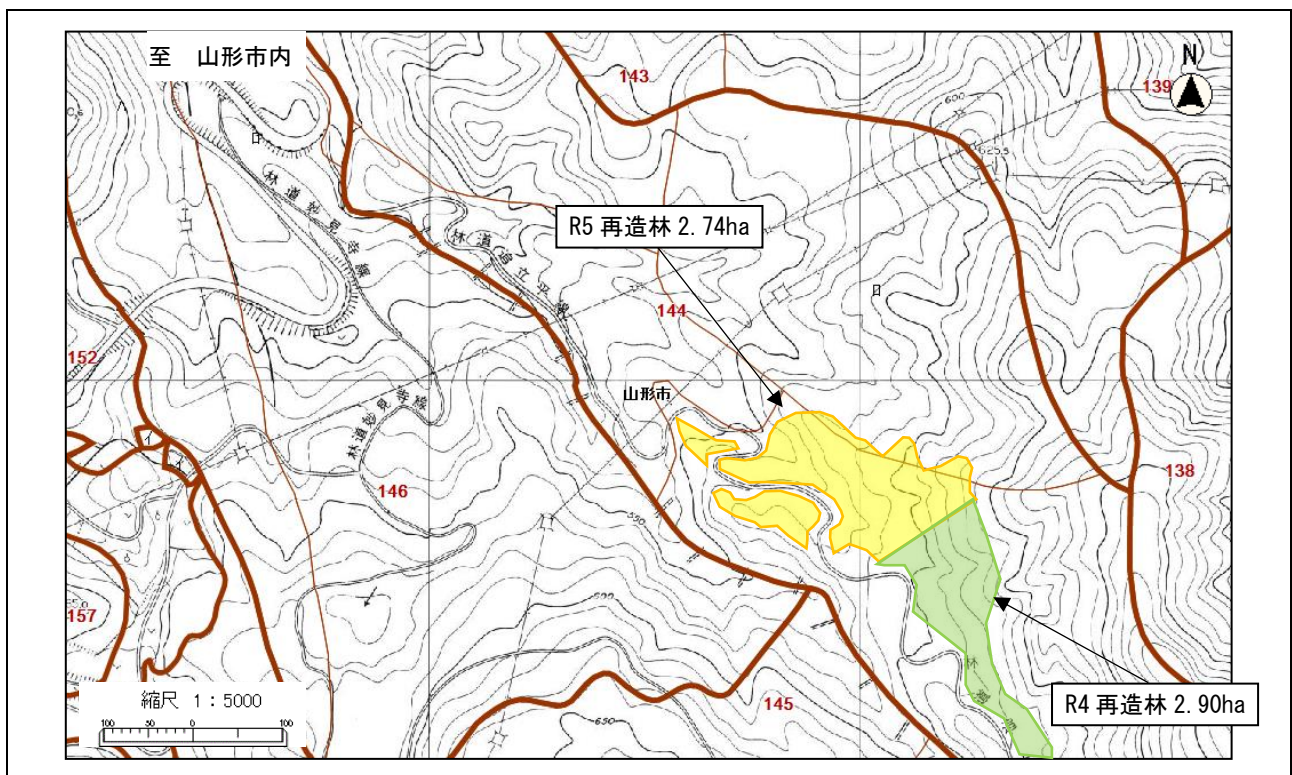


② 荒廃森林緊急整備事業(委託事業)  
事業箇所: 山形市蔵王上野  
事業主体: 県(委託事業)  
事業受託者: 山形地方森林組合  
事業内容: 間伐



## ①森林資源再生事業箇所の概要

位 置	山形市妙見寺 地内	事業主体	山形地方森林組合
事業内容	再造林	面積	2.74ha
樹種・本数	カラマツ 8,220本 (2年生コンテナ苗)		
事業詳細	当該箇所は令和5年7～11月にスギ(70年生)を皆伐し、同年中にカラマツによる再造林を行った(3,000本/ha)。		



カラマツ造林 (R5 実施)

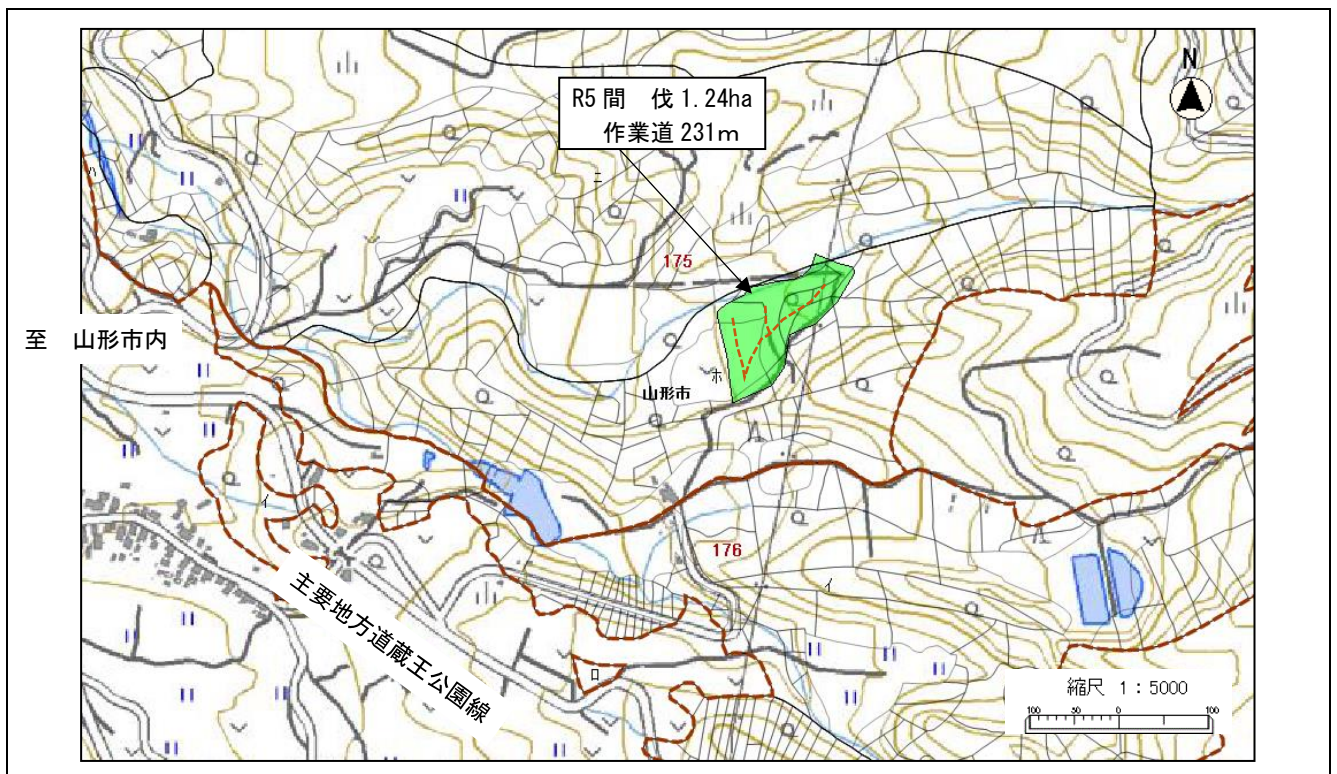


カラマツ造林 (R5 実施)



## ② 荒廃森林緊急整備事業箇所の概要

位 置	山形市蔵王上野 地内		受託者	山形地方森林組合	
整備前密度	1,725 本/ha	整備後密度	1,254 本/ha	面積	1.24ha
整備内容	間伐		伐採率	27.3%	
整備前の状況	当該箇所は林齢 36 年生のスギ林で、長期間、間伐等の施業が行われていなかったため、立木密度が高く、不良木や枯損木が多い状況であった。				
整備方針	令和 5 年度に間伐（不良木・枯損木伐採含む）及び作業道整備を実施した。				
今後の管理方針	森林組合の協力のもと森林所有者が長期的な管理を実施する。				



整備前



整備後（R5 実施）



地域	山形	団体名	花見山プロジェクト
活動地	山形市村木沢		
団体紹介	令和2年1月に発足、いこいの場「花見山」を目指し活動しています		
	<input type="checkbox"/> 荒廃した裏山に桜を植樹し、地域の人が集う里山に戻すためのきっかけを作る <input type="checkbox"/> 「桜が丘小学校」とも呼ばれる村木沢小学校を桜に囲まれたかつての姿に取り戻す <input type="checkbox"/> 村木沢小学校と連携し、環境保全の重要性について学ぶ		
	「里山の雑木林探索会」の実施		
	□市民や地区民が憩う交流・学習の場として、地域の活性化に貢献する		
活動内容	令和5年度の活動		
	大ヤマザクラの植樹 4月	草刈作業 6月～10月	菜の花咲く花見山
			
	里山の雑木林探索会 11月28日	邪魔なる木の伐採 11月	
			白壁先生が花見山の樹々から採取した葉を用いて、柿・ミズキ等いろいろな種類があることを学びました。生徒たちは興味津々熱心に聞きました。
	植樹してから4年目を迎え、桜の木も大きくなりいっぱい花が咲くのを期待しています。「里山の雑木林探索会」は、児童達も喜んでいました。		
活動を行っての感想	桜の管理活動も4年になり、小さな苗木だったのが背丈を越えるぐらいに大きくなりました。きれいな花をいっぱい咲かせてくると期待しながら一生懸命作業しています。村木沢小学校の4.5年生と「里山の雑木林探索会」を行いました。あいにくの雨でしたが、教室で講師が花見山の樹々の葉を使用し、名前を教えてくださいました。興味津々、楽しく学ぶことができました。プレートに各々好きな木の名前を書き、春になったら山に行ってみようと言っています。探索会等を通し小学校児童及び地区民等との交流を深め、森林の保護、環境保全に取り組んでいきたいと思ひます。		

③みどり豊かな森林環境づくり推進事業の概要

事業名	裏山を花見山に ～自然豊かな憩いの場をつくる～
事業実施団体	花見山プロジェクト
所在地	山形市村木沢 地内
事業目的	<p>病虫害により荒廃した地域の森林や耕作放棄地を、地区内外の人たちが集う場所にするため、会員や地域住民・村木沢小学校の協力を得ながら里山林整備を行う。</p> <p>また、村木沢小学校と連携して花見山を活用した森林環境学習を行う。</p>
活動内容	<p>①サクラの植栽及び保育作業・管理 ②村木沢小学校と連携した「里山雑木林探索会」の開催 ③遊歩道整備・管理</p> <p>・令和5年度参加人数：117名 【令和2～5年度実績 のべ383名】 ・令和5年度事業費：372千円 【令和4～5年度実績 のべ801千円 内、やまがた緑環境税741千円】</p> <p>※ 会としては、令和2年1月に発足。 やまがた緑環境税活用事業としては、令和4年度からに活動。</p>
効果	<p>植栽した当初は小さな苗木だったサクラが背丈を超えるサイズにまで大きくなり、荒地だった場所が、春に花見を楽しめる雑木林へと成長しつつある。地域住民からも、里山林の利用と管理について関心を持ってもらうことができ、今後の活動の拡大に手ごたえを感じている。</p> <p>村木沢小学校と開催した「里山雑木林探索会」では、講師の指導のもと樹木の名前を教わり、樹名板を設置する作業を行った。多様な樹木について学ぶことで、森林への興味を育むことができた。</p> <p>地域の次世代を担う子どもたちと連携することで、継続的な活動として地域に定着させることができるよう、今後も継続していく。</p>